

事務事業評価シート(平成21年度実績分)

(1) 事務事業の名称・位置づけ [Plan1]

白色のセルのみ入力してください。(コメントを見ながら入力)

Table with columns: 事務事業コード, 事務事業名, 担当課, 担当係名, 所属長(課長等)名, 担当者係長名. Includes details for '通常保育事務' and '保育園運営事務'.

(2) 事務事業の内容(目的と手段を把握します。)[Plan2]

Table for content with sections: ①対象(〜に対して).....この事務事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。 ②目的(意図)(〜という状態にするために).....この事務事業のサービスを提供することによって対象をどういう状態にしたいのですか。 ③手段(事業内容)(〜を行う).....上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、事業の実施内容(サービスの概要)を記入します。

(3) 活動指標の設定と推移.....(2)の③サービスの概要(手段)の指標を表します。[Do1]

Table for activity indicators with columns: 区分, 単位, 実績値 (20年度, 21年度, 22年度), 計画値, 最終目標年度. Includes indicators for enrollment and staff numbers.

(4) 成果指標の設定と推移.....(2)の②目標(意図)の達成度を指標で表します。[Do2]

Table for result indicators with columns: 区分, 単位, 実績値 (20年度, 21年度, 22年度), 計画値, 最終目標年度. Includes indicators for enrollment and staff ratios.

(5) 総事業費(コスト)の推移 [Do3]

※事業費の算定方法  決算書・予算書等に記載の数字  按分計算による算定

Table for total expenses with columns: 区分, 課長, 課長補佐, 係長, 一般職員, 延べ人数, 年間人件費. Includes sub-totals for total expenses and personnel costs.

指標化

指標化

**(6) 項目別評価 [Check]**

視点	項目別評価	判定	評価結果	
必要性	1. 事業のニーズに変化はありますか	A	A 増加傾向にある C 減少傾向にある	B 変化していない D かなり減少している
	2. 町(行政)が関与する必要性がありますか	A	A 町が主体となる必要がある C 町も関与するが関与の度合いを縮小できる	B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要 D 町の関与のあり方を再検討する
目的妥当性	3. 対象の設定は妥当ですか	A	A 対象は現在の設定が妥当である B 対象の変更の余地がある	Bの場合その具体的な内容をお書きください
	4. 目的(意図)の設定は妥当ですか	A	A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している B 目的(意図)は上位の施策に合致していない点がある	Bの場合その具体的な内容をお書きください
有効性	5. 期待された成果は得られましたか(成果指標の目標値への達成度)	B	A 期待したとおりの成果があった B 概ね期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった D 成果が少なく今後も向上する見込みがない	C・Dの場合その具体的な内容をお書きください
	6. 連携可能な事務事業はありますか(町以外の取り組みも含めて)	A	A すでに実施している B 今後は可能性がある C 今後可能性はない	A・Bの場合その具体的な内容をお書きください 特別保育事業(一時保育・長時間保育・乳児保育等)
効率性	7. 成果を下げずにコスト(事業費・人件費)を削減できますか	B	A 余地なし B 当面は余地なし C 一部余地あり D かなり余地あり	C・Dの場合その具体的な内容をお書きください
公平性	8. 受益者負担は適切ですか	B	A 検討の余地なし B 当面検討の余地なし C 一部検討の余地あり D かなり検討の余地あり	C・Dの場合その具体的な内容をお書きください
その他	9. 現在の事業内容(サービス)に対して、対象の声やニーズを把握していますか	B	A アンケートなど具体的な方法で把握している B 日常業務の中で把握している C 把握していない	A・Bの場合その具体的な把握方法を、Cの場合その理由をお書きください 保護者へ保育士、園長が日常の声かけ。

**(7) 改革改善 [Action]**

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) **口を一つチェックしてください。**

- ア. 現状のまま継続する    
  イ. 見直しのうえで継続する    
  ウ. 終期設定    
  エ. 廃止    
  オ. 休止

**<今後の展開方針>(イを選択した場合のみ口を一つチェックしてください)**

- a 重点化する(コストを集中的に投入する等)  
 b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える)  
 c 効率化を図る(コストを下げる)  
 d 縮小する(簡素化する)  
 e その他(別事務事業に統合する等)

**(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)**

時期(年度)

**事業改善の経過**

(前年度で記入した事業の方向性の具体化内容についての評価やこれまでに事業改善をした経過を記入します。)

保護者の負担の軽減をはかるため、保育料の改定を行った。また一家庭で保育園に在園する3人目を無料化した。

**事業の方向性の具体化**

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)

22年度予算見積書への反映  あり  なし

人口は減少傾向であるが、世帯数は年々増加し、核家族化進み、これと共に母親の就労も多くなり低年齢からの入所希望が増えている。こうした保護者のニーズに応えるため、町内6園の保育サービスの充実に努める。

[反映内容]

**(8) 所属長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)**

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)

上位の施策の推進に貢献していますか。口をチェック

入所要件を適正に審査し、迅速、正確な事務を目指していく。保護者の希望を反映しつつ、定員の適正管理と保育士の配置に配慮し、安全な保育を確実に進めていく。

- A. 貢献度 大      D. 上位施策なし  
 B. 貢献度 中  
 C. 貢献度 小

(今後の方向性 口を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持    
  イ. 見直しのうえで継続する    
  ウ. 終期設定    
  エ. 廃止    
  オ. 休止

上記 a~e を選択